

令和8年度 予算要望書

令和7年11月4日

土井章史

令和8年度 予算要望について

市民・暮らし・未来（あした）のために

福祉、医療、教育の充実など市民サービスの向上を図るとともに産業振興、環境保全、交通基盤の整備など幅広い分野において施策を推進することにより、市民から「子育てするなら淡路市」、「教育を受けるなら淡路市」、「第2、第3の人生を楽しむなら淡路市」と言っていただき、多くの人や企業に選ばれ、将来にわたって持続的に発展を続けるまちの実現をともに目指していただきたいと思います。

ふるさと納税が好調ではありますが急速な少子高齢化の進行や本格的な人口減少などが課題となっている中、まちづくり事業等の選択と集中や既存の公共施設等の見直し、基盤の整備や産業集積による税源涵養などを行い、財政の健全化を図っていただいておりますが、医療や介護等の社会保障に係る経費の増大や公共施設の老朽化への対応など、厳しい財政運営が続くことが見込まれます。

本提案・要望書は、淡路市が行財政運営を行うに当たって、制度及び予算などについて、御検討、御協力をお願いしたい事項を取りまとめたものです。

つきましては、市におきましても多くの政策課題を抱え、財政も厳しい状況にあることは承知しておりますが、提案・要望につきまして特段の御配慮をお願いいたします。

産業の支援

- (1) 一次産品の特性を活かしたブランド化を行うこと。
- (2) 産業振興と担い手対策の推進を行うこと。
- (3) 新規就業者や若手業者の育成支援を行うこと。
- (4) スマート農業に対する補助金支援の強化を行うこと。
- (5) 稚魚放流、陸上養殖や養殖の研修と試験の実施を行うこと。
- (6) 国に「消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）廃止」を求めること。

交通の強化

- (1) 交通不便地域等、必要な路線については、拡充・新設に取り組むこと。
- (2) ダイヤについて、利用者からの苦情が出ている。地元住民、利用者等の意見聴取を十分に行いダイヤ改正の検証を行うこと。

デジタル化の支援 ※デジタル活用推進事業債の活用

- (1) 広報のデジタル化を行うこと。自治会長や役員の方の負担軽減が望めるとともにタイムリーな情報が市民に伝わり災害時の警報・安否確認にも役立つ。
- (2) タブレット端末等を活用した買い物支援を行うこと。

介護の支援

- (1) 重度訪問介護サービスの支給上限（172 時間/月）の見直しを行うこと。
- (2) 利用者の介護ニーズに応じた柔軟な支給決定の仕組みの導入を行うこと。

地域コミュニティの活性化

- (1) だんじり祭りの助成事業を行うこと。市民の郷土意識の高揚や地域コミュニティ活動の活性化に繋がる。

東浦バスターミナルの改善

- (1) 動線の整理をすること。
- (2) 観光客にわかりやすい交通誘導看板等の設置をすること。
- (3) 様式トイレにすること。

動物の愛護

- (1) 本市の動物愛護センターの殺処分をゼロとすること。
- (2) 地域猫活動での飼い主のいない猫の不妊去勢手術の助成金を増やすこと。

選挙の改善

- (1) 期日前投票所の箇所数を抜本的に増やすこと。
- (2) 特養ホームや病院などの臨時の投票所申請がどのくらいされているのか調査し公表し、向上を図ること。
- (3) ①市内すべての人が投票できる共通投票所を導入し、どこでも投票できるようにすること。
②期日前投票所が投票日当日も共通投票所となるようにすること。
- (4) 投票日当日の投票所の設置箇所数を抜本的に増やすこと。
- (5) 投票所に徒歩で行けない高齢者も増えている現状、市内でもバスに乗らなければ行けないほど距離が遠い投票所があることをとらえて、高齢の方や障害がある方々が投票にアクセスしやすいように、車で巡回しながら移動して投票できる「移動式期日前投票所」の導入を本格的に検討すること。